

「平和の尊さを考える 原爆パネル展」を開催

広島、長崎に平和への願いが届くように

「ラコパふくしま」で 8/27～9/3まで開催中

連合福島は毎年6月～9月にかけて「平和行動強化期間」として諸平和活動に取り組み、沖縄、広島、長崎、根室それぞれの平和行動への参加、終戦記念月の8月に平和集会を開催してきました。しかし、今年は、昨年年末から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっているため、平和行動はすべて不参加、平和集会も中止せざるを得ない状況となりました。平和集会を主催してきた連合福島は、同集会を共催する「原水禁福島県民会議」、「KAKKIN福島」と協議の上、8月27日（金）から9月3日（木）の期間、福島市・「ラコパふくしま」5Fロビーにて「平和の尊さを考える原爆パネル展」を開催しています。

パネル展では、広島・長崎の原爆投下時の様子の写真等30点の他に、「原水禁福島県民会議・KAKKIN福島」、県北・県中・県南・会津・いわき・相双の各地域連合、そして連合福島青年女性委員会から寄せられたメッセージを背にした「平和の折り鶴」が、広島、長崎にむけて飛び立とうとしています。

連合福島 今野 泰会長、連合福島青年女性委員会 大越香代子代表幹事からのメッセージは裏面をご覧ください

パネル展の様子は、連合福島ホームページに動画として掲載していますので、ぜひご覧ください。

連合福島ホームページ →



パネル展紹介動画 →



パネル展：原爆投下時の様子が収められています



各団体から寄せられた平和の折り鶴



「平和の鶴」に寄せられたメッセージを託して

平和の尊さを考える
原爆パネル展

主催
後援
KAKKIN福島
原水禁福島県民会議
日本労働組合総連合会福島県連合会

連合福島・今野 泰 会長からのメッセージ



動画の中で挨拶する今野会長

皆さんこんにちは。連合福島の会長、今野です。例年、長崎・福島の平和式典開催、終戦記念日の8月に、「核兵器廃絶と平和を求める県民集会」を連合福島、原水禁福島県民会議、KAKKIN福島の3団体で開催しています。しかし、今年はコロナ感染の予防対応を重視し、集会開催を断念せざるを得ませんでした。そのため、今日8月27日から9月3日まで、福島市ラコパ5階ロビーで「平和の尊さを考える原爆パネル展」を開催します。

連合福島は、今年のメーデーでもそうだったように、「できない現状を悲観するより何ができるのか、今、何をすべきか」を悩みながら、

みんなが歩みを止めない運動を進めています。

戦後75年、戦争の風化が危惧されています。一方で、東南アジアを中心に緊張は高まり、トランプ大統領は、核兵器重視の姿勢を強めています。先の大戦、戦争の果てなき犠牲、そして、代償の上に平和が築かれたことが忘却の彼方へ追いやられようとしています。

人は違う時代や場所に生きた、生きる人々の経験や気持ちを未来に活かせる、唯一の生き物です。奇しくも、今年は新型コロナの感染拡大で、これだけ命の尊さに向き合う日々はないと思います。

皆様には、この写真展が命の尊さ、平和を考える時間、空間としていただければ、関係者にとっては何よりです。

結びに、この写真展開催、特に折り鶴作成にご協力いただきました、各地区連合、青年女性委員会の皆様に感謝申し上げます。

そして、ご来場いただいた際は、平和への思いを込めて折り鶴を一羽でも折っていただくことを、重ねてお願いいたします。コロナ禍で辛く、やるせない日常にご苦勞やご不安もあるかと思ひます。あなたの職場、地域に連合福島の多くの仲間はいます。みんなで、この困難のりこえよう。ともにがんばりましょう。

「平和の願いを翼にのせて」 連合福島青年女性委員会 大越香代子 代表幹事

連合福島青年女性委員会は、毎年広島への平和行動へ参加し、核兵器根絶と世界平和の恒久の実現に向けた取り組みを行なってきました。

今年は、連合ふくしま主催の「平和の尊さを考える原爆パネル展」に参加する機会を頂き、次世代を担う者として、心を込めて平和へのメッセージを伝えようと大きな鶴を制作し、それぞれの思いを乗せ、ラコパに飛ばすことが出来ました。

コロナ禍のなか、いつも以上に命の尊さと向き合い、普通に過ごすことのありがたさや、平和を願う気持ちを強く意識する機会となり、感慨深い取り組みになりました。広島や長崎に投下された原子爆弾



「鶴」に平和を願うメッセージを託しました

の、被害者の訴えや平和への祈りなどのパネルを見て頂き、二度とこの悲劇を繰り返さないよう、二度と核兵器が使われないようにとの深い思いを忘れないよう、一緒に願って頂けますと大変ありがたく存じます。これからも、青年女性委員会は社会へアピールを続けて参ります。この機会に是非多くの皆様のご来場をお願い申し上げます。



「平和の折鶴」を折る青年女性委員会の皆さん